



令和8年度 木材利用推進コンクール 公募のご案内



木材利用推進中央協議会では、木材利用の一層の促進を目的としたコンクールを平成5年から30年以上にわたり開催しています。現在は、特色のある木造施設等を対象とする「優良施設部門」と、国産材利用に積極的に取り組む企業を対象とする「国産材利用推進部門」の2部門で構成されています。

優良施設部門では内閣総理大臣賞、農林水産大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、文部科学大臣賞の5大臣賞ほか各賞、国産材利用推進部門では農林水産大臣賞ほか各賞が授与されます。

令和6年度からコンクール名称を変更し、木材の利用推進の観点から、他のモデルとなるような普及性の要素を新たに加えて審査・選考を行うこととしています。みなさま奮ってのご応募をお待ちしております。

【募集期間】 令和8年6月8日(月)
~7月13日(月)

主催：木材利用推進中央協議会
後援：農林水産省、国土交通省、環境省、文部科学省
森林(もり)を活かす都市(まち)の木造化推進協議会
共催：都道府県木材利用推進協議会

賞の構成

Awards

<優良施設部門>

- ◆内閣総理大臣賞(1点)
- ◆国土交通大臣賞(1点)
- ◆木材利用推進中央協議会会長賞(2点程度)
- ◆文部科学大臣賞(1点)
- ◆環境大臣賞(1点)
- ◆審査委員会特別賞(2点程度)
- ◆農林水産大臣賞(1点)
- ◆林野庁長官賞(1~2点)
- ◆優秀賞(応募数の5割から特賞を除いた点数。※計50点程度まで)

<国産材利用推進部門>

- ◆農林水産大臣賞(1点)
- ◆林野庁長官賞(1~2点)
- ◆木材利用推進中央協議会会長賞(2点程度)

応募対象

<優良施設部門>

本コンクール「優良施設部門」の受賞施設以外であって、令和4年度以降令和8年5月までに建設された以下の施設とします。

ア 木造施設、内装木質化施設

学校等施設、研修・多目的交流等施設、保育園等施設、展示・資料館等施設、保健・保養・ケア・病院等施設、住宅団地等施設、体育館・音楽堂等施設、交通関係施設、宿泊施設、庁舎・事務所等施設、商業施設等

イ 街づくり施設

公園遊具、モニュメント、外構施設、土木施設(木道、木柵、木橋、木製ガードレール、堰堤等)等

※戸建て住宅及び国が整備した施設は除きます。

<国産材利用推進部門>

◆川中:国産材製品の生産及び販売、流通を通じて、利用拡大に取り組む企業【製材、集成材、合板、建材、流通、プレカット事業者等】

◆川下:国産材を多く利用するとともに、普及啓発等の利用拡大に取り組む企業【住宅メーカー、ゼネコン、施主(店舗・事業所)等】

・令和7年(または令和7年度)における国産材の利用推進に係る取組とします。

・本コンクールにおいて、農林水産大臣賞を過去5年間受賞していない建築事業者等とします。

ただし、優良施設部門における受賞履歴は問わないものとします。

審査基準

審査は、主に以下の視点に基づいて行います。詳細は実施要領をご確認ください。

<優良施設部門>

- (1) 地域の木材を持続的かつ有効に活用するための工夫
- (2) 建築物の木造化・木質化のための工夫
- (3) 木材利用による地球温暖化防止等への貢献
- (4) デザインや快適な空間づくり等における工夫

<国産材利用推進部門>

- (1) 国産材の取扱量が顕著なことによる国産材利用の推進
- (2) 持続可能な国産材利用の推進
- (3) 国産材利用を促すための普及活動の推進
- (4) 地域貢献等を目的とした国産材利用の推進

※実施要領掲載のHP: <https://www.jcatu.jp/competition>

審査委員 (敬称略)

<優良施設部門>

委員長	腰原 幹雄	東京大学生産技術研究所 教授
委員	三井所 清典	公益社団法人日本建築士会連合会 名誉会長
	安藤 範親	株式会社農林中金総合研究所 リサーチ&ソリューション第2部 マネージャー
	安井 昇	NPO法人TeamTimberize 理事長
	松原 恵理	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 木材研究部門 複合材料研究領域 積層接着研究室 室長
	鈴木 恵千代	一般社団法人日本空間デザイン協会 元会長
	北谷 明日香	一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会 会長
	長澤 悟	株式会社教育環境研究所 所長
政府・団体		一般社団法人全国木材組合連合会 会長 林野庁 文部科学省 国土交通省 環境省

<国産材利用推進部門>

委員長	伊神 裕司	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 研究ディレクター(木質資源利用研究担当)
委員	塚本 愛子	公益社団法人 高知県森と緑の会 専務理事
	辻 潔	株式会社日本林業調査会代表取締役 (隔週刊「林政ニュース」発行責任者)
政府・団体		一般社団法人全国木材組合連合会 会長 林野庁

応募方法

応募様式をコンクールのWebサイトからダウンロードして応募資料を作成してください。

(応募は専用の応募フォームよりお願いします。応募様式はExcelで作成した電子ファイルに限ります。)

<応募様式のダウンロード、応募資料の提出は下記特設サイトから>

<https://www.jcatu.jp/competition/>

※募集に関するお問い合わせは、次のメールアドレスをお願いします。 < contest-2026-accept@zenmoku.jp >



お知らせ

受賞作品等は『写真で見る「木」の施設』木造事例集(令和8年度版)や、2027年版カレンダーなどの木材利用の普及に資する媒体に掲載させていただきます。



【お問い合わせ先】

木材利用推進中央協議会 担当 米田、染谷、末藤
〒102-0082
東京都千代田区一番町25番地 全国町村議員会館6階
TEL 03-6261-9134 / FAX 03-6261-9133

令和8年度 木材利用推進コンクール 〈国産材利用推進部門〉

この部門について

国産材をたくさん使うために努力する建築関係(施主除く)の企業の取組や成果を顕彰します。

※個別の施設ではありません。



こんな企業を募集します

- ・国産材をたくさん使ってきた実績を評価してほしい。
- ・国産材利用をアピールする機会がほしい。
- ・木材利用推進協定等に係る取組、成果を評価してほしい。
- ・国産材の利用拡大に向けた普及啓発の取組を知ってほしい。
- ・地域に根付いた木材利用の業績を評価してほしい。 etc..

募集の対象

国産材の利用促進に取り組む建築に関連する企業が応募できます。

〈川中〉

- ・製材 ・集成材
- ・合板 ・LVL ・CLT
- ・建材(外装・フローリング等)
- ・プレカット事業者
- ・流通事業者 等

〈川下〉

- ・ハウスメーカー
- ・工務店
- ・ゼネコン
- ・施主 等

※施主は、木造または木質化による店舗、事業所の展開を行う事業者



賞の構成

国産材の利用推進に関して優れた点がみとめられる企業に次の賞が授与されます。

〈最優秀〉農林水産大臣賞：1点

〈特賞〉林野庁長官賞：2点程度

木材利用推進中央協議会会長賞：2点程度

※応募状況等により変更となる場合があります。

審査の基準

下記8項目について審査します。

①木材利用量

②木材利用量の伸び率

③木材利用量拡大の取組

④社会課題への取組

⑤計画的な木材利用

⑥木材利用の推進を図る普及啓発

⑦地域貢献

⑧サプライチェーンの形成

※赤字は必須項目です。

【応募方法】

特設サイトから応募様式をダウンロードし、応募資料を作成のうえ、ご応募ください。

〈 <https://www.jcatu.jp/competition/> 〉

※応募に関するお問合せは、次のメールアドレスまでお願いします。
〈 contest-2026-accept@zenmoku.jp 〉



【お問い合わせ先】

木材利用推進中央協議会（担当：米田、染谷、末藤）
〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地
（全国町村議員会館6階）

TEL 03-6261-9134

FAX 03-6261-9133

